

安全データシート

作成:2024年 6月18日

改訂:2024年12月11日

1. 製品及び会社情報

整理番号 :KI110-01
製品名 :クミアイフィールドマストフロアブル
会社名 :クミアイ化学工業株式会社
住所 :東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 :サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 :03-3822-5180
FAX番号 :03-3823-6830
緊急連絡先 :平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 :農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性 :分類できない
健康に対する有害性 :分類できない
環境に対する有害性 :分類できない

GHSラベル要素

絵表示 :該当なし

注意喚起語 :該当なし

危険有害性情報 :該当なし

注意書き

【安全対策】

該当なし

【応急処置】

該当なし

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

1-[(2-クロロ-1, 3-チアアゾール-5-イル)メチル]-3-(3, 5-ジクロロフェニル)-9-メチル-2, 4-ジオキソ-3, 4-ジヒドロ-2H-1λ⁵-ピリド[1, 2-a]ピリミジン-1-イリウム-3-イド
 一般名：ジクロロメゾチアズ

成分及び含有量：	ジクロロメゾチアズ	18.4%
<その他>	プロピレングリコール(別名：プロパン-1, 2-ジオール)	1-10%
	アタパールジャイト(別名：パリゴルスカイト)	1-10%
	界面活性剤、水等	

化学式： C₁₉H₁₂C₁₃N₃O₂S

官報公示整理番号：	化審法	2-234	プロピレングリコール
	安衛法	8-(2)-2918	ジクロロメゾチアズ

CAS RN®：	1263629-39-5	／	ジクロロメゾチアズ
	57-55-6	／	プロピレングリコール
	12174-11-7	／	アタパールジャイト

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

皮膚に付着した場合：

- 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。直ちに多量の水で 15～20 分間洗浄すること。
- 皮膚に刺激又は発疹が生じた場合は医師の診察/手当を受ける。

眼に入った場合：

- 眼を擦らないこと。眼を開いたまま、水で 15～20 分間濯ぐ。5 分間ゆすいだ後、コンタクトレンズ着用時にはそれを取り外し、眼をゆすぎ続けること。刺激が続く場合は、医師の診察/手当を受ける。

吸入した場合：

- 新鮮な空気がある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合は、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識の無い人には絶対に口から何かを与えないこと。症状が続く場合は、医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

救助の際は保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水噴霧・泡消火剤・粉末消火剤・二酸化炭素

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性：

火災によっては刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生の可能性がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：

消火作業の際は、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

関係者以外及び必要な保護具を着用していない者の立ち入りを禁止する。

適切な保護服及び保護手袋を着用すること。

防じんマスクを着用すること。

環境に対する注意事項：

漏出源を遮断する。

河川、下水道等に排出させない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

ウエス、雑巾等によく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。

懸濁液が蒸発した場合、粉じんが発生する可能性があるため、掃き集めて空容器に回収する。

二次災害の防止策：

漏出物及び漏出物処理時の廃液が、排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所に流入するのを防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

指定された個人用保護具／保護衣／保護面を使用すること(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。

安全取扱注意事項：

粉じんを起こしたり、飛散させないこと。

屋外又は換気の良い場所で使用すること。

使用前に説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

接触回避:

高温、炎、火花

衛生対策:

取扱い時は、食事をとったり、飲んだり、タバコを吸ったりしないこと。

作業衣等に付着した場合は、速やかに取り替えること。

保管

安全な保管条件:

施錠すること。換気がよい冷暗室に、密封できる容器に入れて保管する。

安全な容器包装材料:

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度/許容濃度: 情報なし

設備対策:

取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。有害物が環境中に放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具

呼吸用保護具: 適切な防じん性マスクを着用する(JIS T8151、JIS T8152 に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク等)

手の保護具: 保護手袋を着用する(ゴム手袋等)

眼の保護具: 保護眼鏡を着用する(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型等)

皮膚及び身体の保護具: 保護衣(不浸透性)を着用する(作業着、帽子、保護服等)

衛生面: 取扱い時は、食事をとったり、飲んだり、タバコを吸ったりしない作業着等に付着した場合は、速やかに取り替える

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 黄色水和性粘稠懸濁液体
臭い	: データなし
pH	: 4.0-10.0
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 60°Cで引火を観察せず(タグ密閉式)

自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.05–1.15 g/cm ³
溶解度	: 水中で分散
水溶性	: 水中で分散
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: 粘度 599 mPa・s(20°C) (JIS Z 8803)
粒子特性	: 該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱い条件下では安定である。
化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	高温、炎、火花
混触危険物質	酸化剤、還元剤等
危険有害な分解生成物	火災によっては刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生の可能性がある。

11. 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性(経口)	ラット(雌) LD ₅₀ > 5,000mg/kg
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ > 5,000mg/kg
急性毒性(吸入)	ラット LC ₅₀ > 5.13 mg/L
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ 刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: モルモットを用いた皮膚感作性試験(Buehler法)の結果、皮膚感作性は認められなかった。
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

成分の有害性情報

<ジクロロメゾチアズ>

急性毒性(経口)	ラット LD ₅₀ > 5,000mg/kg
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ > 5,000mg/kg
急性毒性(吸入)	ラット LC ₅₀ > 5.4 mg/L
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ 軽度の刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: モルモットを用いた皮膚感作性試験 (Maximization 法)の結果、皮膚感作性あり。

生殖細胞変異原性

< *in vitro* 試験 >
 復帰突然変異試験 (Ames): 陰性
 染色体異常試験: 陰性
 遺伝子突然変異試験 (CHO/HGPRT): 陰性

発がん性

< *in vivo* 試験 >
 マウス骨髄小核試験: 陰性
 ラットを用いた慢性毒性/発がん性併合試験、マウスを用いた 18 ヶ月間発がん性試験において発がん性なし。

生殖毒性

データなし
 ラット: 親動物の繁殖能に関する指標には変化は認められなかった。
 ラット・ウサギ: 催奇形性試験では、悪影響はみられなかった。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラット・マウス・イヌ: 影響は見られなかった。

誤えん有害性

該当しない

12. 環境影響情報

製品の有害性情報

生態毒性(水生生物への影響)

魚類	: コイ LC ₅₀ = 190 mg/L (96 時間)
甲殻類等	: オオミジンコ EC ₅₀ > 81.5mg/L (48 時間)
藻類	: <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>

	ErC ₅₀ > 81.5mg/L (0-72 時間)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 該当しない

成分の環境影響情報

<ジクロロメゾチアズ>

水生環境有害性 短期(急性)

魚類	: コイ LC ₅₀ >0.18 mg/L (96 時間)
	: ヒメダカ LC ₅₀ >0.077 mg/L (96 時間)
甲殻類等	: オオミジンコ EC ₅₀ >0.18mg/L (48 時間)
藻類	: <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> ErC ₅₀ > 0.022mg/L (0-72 時間)

水生環境有害性 長期(慢性)

	: データなし。
残留性・分解性	: 加水分解性 (20℃) : DT ₅₀ = 169 日 (pH4)、210.3 日 (pH7)、91.1 日 (pH9) : 水中光分解性: DT ₅₀ = 17.1 日 (pH7 緩衝液)、9.4 日 (自然水) : 生分解性: データなし
生体蓄積性	: 生物濃縮性は低い。 ヒメダカ: BCF _{ss} : 127.1~136.7、BCF _k : 136.7~144.6
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 該当しない

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ秤量し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。
国際規制: 非該当

国内規制:

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。

緊急時応急措置指針番号 : -

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第24848号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法

施行令第18条、第18条の2(表示、通知対象物質)

: プロピレングリコール(安衛則別表第2の1786)(2025年4月1日施行)

: パリゴルスカイト(安衛則別表第2の1563)(2025年4月1日施行)

化学物質審査規制法 : 優先評価化学物質(プロパン-1, 2-ジオール)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

5) 全国農業協同組合連合会 フィールドマストフロアブル 安全データシート
(2024年6月1日作成)

6) 日本農薬(株) 安全データシート 628-38(M24-09)(2024年11月21日作成)

作成部署以外の連絡先

(公益財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1 件 2,000 円)は弊社が負担 いたします。